

マネージメント情報 2009年 5月

1. 上春別地区において授精業務サービスを開始します

すでにご承知のことと思いますが、下記のとおり当社として6月1日より授精業務を開始することとなりました。授精師は、JA 道東あさひ 上春別支所を退職いたしました、太田 智享 技師が、当たることとなります。太田技師は、未長く当地に留まりその生産性向上の一翼を担いたいという強い意志をもって、この新たな道を選択いたしました。当社としましても、この意志を尊重し、本授精業務を通して農協とも協力しつつ、そのサービスと技術を互いに切磋琢磨できるような関係を将来にわたり築き、もって上春別地区における授精業務の活性化と向上に寄与したいと考えています。

記

有) トータルハードマネージメントサービス

授精業務課 TEL: 0153-75-6591

携帯: 契約中

業務開始日 21年 6月 1日 予定

受付時間 AM 6:00 - PM 7:00

2. 酸性化乳のフリーアクセス哺乳

北欧で始まった哺乳牛乳に乳酸を添加してそれをフリーアクセス（いつでも飲める）させる哺乳方法が、北欧からヨーロッパそして、北米で静かなブームになっています。牛乳に乳酸（サイレージ添加用）を添加することによって牛乳は酸性化します。酸度は pH4.0-4.5 くらいになるように添加します。これによって、一般的な細菌（大腸菌など）やカビ類は生きていけなくなってしまいます。実際に乳酸を添加された牛乳から細菌やカビは、培養できなくなり、この効果が数日つづくことになるようです。

そこで、この無菌的（殺菌消毒された）な牛乳をいっぱい作って、好きなだけ飲ませようという試みです。牛乳事態が非常に衛生的かつ、殺菌的になっているためニップルや容器の中の衛生も保ちやすくなるため、グルー

プフィーディングに適したものになりますし、衛生的なものなので大量に飲んでも（本来、仔牛の牛乳摂取要求量はもっと高い）軟便にはなってもそれが下痢の原因になることはないわけです。

牛乳の60度30分の過熱殺菌と同じ様な意味を持っていますが、蟻酸添加牛乳はその後の無菌的な状態が長く持続することが特徴のようです。

ゲーターも様々ですが、一般的には下痢やその他の病気が少なく、フリーアクセスによって一日6-8Lくらいの摂取量となるため、その増体もよいということになっています。北米の獣医師や酪農家も最初はかなり懐疑的にみていたようですが、最近はそのがよいものであるという認識に変わり、じわじわと普及されてきているようです。また同時にその研究などの発表も増えてきて我々の目に触れる機会が増えてきました。その幾つかの報告の中から写真を掲載します。かなり良いもののように思えます。興味のある方は是非挑戦してほしいと思います。



写真1

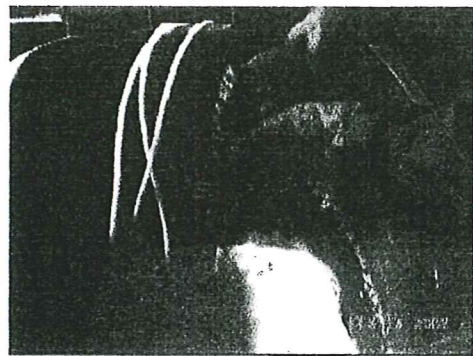


写真2

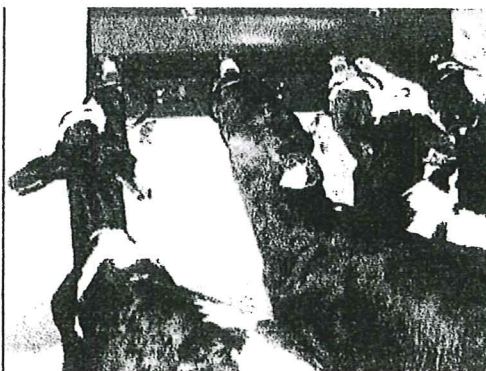


写真3

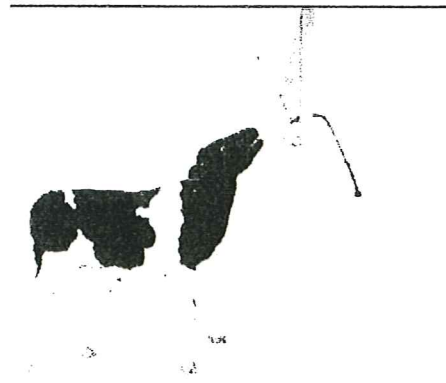


図1

これらは、グループフィーディングの写真ですが、個体への応用が十分可能です。写真2のように、時々かき混ぜなければ分離する欠点がありますが、牛乳を衛生的に省力化して飲み放題できる方法は魅力といえます。 黒崎